

# ボランティア活動をさらに推進

## 住み郷定期総会



した特別講演がありました。講演の中で吉津さんは、ボランティア活動の重要性、特に、感受性の強い青少年時代に体験させることが重要である…などを力説しました。

市住みよい郷土建設協会（会長 横山和平）の第二十回定期総会が六月二十日、中央公民館で開かれました。この会は、保健衛生活動の推進をはかり、地域住民が健康で文化的な明るい生活を営むことに寄与することを目的に結成されたものです。

総会には、役員のほか自治会長各町内の保健衛生担当役員など約七十人が出席しました。五十九年度の事業計画としては特に、今問題になっている使用済み乾電池等の回収運動に協力するなど、新しい事業計画も承認されました。

なお、総会の後、県社会教育協会事務局長吉津勝栄さんの「地域におけるボランティア活動」と題

また、総会の席上、次の二団体と一個人が環境衛生の向上に尽力したなどの理由で表彰されました。

▼早通北婦人会（代表西村ヤイ）  
（表彰理由）一早通南小学校の児童などの通学路にもあたる早通北と南を結ぶ地下歩道の清掃を五年余りにわたり実施。

▼三和会（代表椎谷秀男）  
（表彰理由）一早通駅待合室、こ線橋、駅前歩道、自転車置場等の清掃を七年余りにわたり実施。

▼渡辺芳男（早通南一、六九歳）  
（表彰理由）一住みよい郷土建設協会の副会長として活動、会の発展に貢献。

# 地域と市政の発展を目指して

## 自治会長連合会総会

市内百三十人の自治会長で組織する、自治会長連合会の五十九年度定期総会が、六月十八日、嘉山の大倉屋で開かれました。

市長はあいさつの中で、地域活動を推進し、市政発展を図るため重要かつ複雑な仕事をしている自治会長の皆さんに深く感謝し、併せて今後の協力をお願いしました。

総会では、白新線複線化の促進 福島潟、新発田川放水路の早期完

成、大阿賀橋の早期完成など昨年から継続事項に、阿賀野川運動公園の早期実現、高校誘致促進などを新たにに加え、全部で十項目の要望推進事項を決議しました。

最後に役員改選が行われ、今年度の新役員が承認されました。

また、この席上で永年勤続自治会長十二人に、市長から感謝状が贈られました。

○自治会長連合会新役員

会長 岡田静司（高森新田）

副会長 安達八兵衛（樋ノ内）

同 帆苺善一郎（樋ノ入）

同 渡辺孝衛（浦木）

同 村越光夫（県営第九）

○永年勤続で表彰された者

会田政司（下他門）、渡部武雄

（若松町）、菅原精悦（前新田）、

田村一栄（早通北六）、高野秀三

郎（山飯野）、原澄男（太子堂）、

渡辺与四郎（森下）、岡田静司（高

森新田）、増田庸太（上堀田）、風

間正太郎（内沼）、斎藤晴吾（上

土地亀）、嘉藤嘉雄（長戸）



全体の活動計画を審議する自治会長

# シリーズ ほんま宿に (3) 農業

## 基盤整備や農機具の効率化



岡方農協営農指導課長 高野 満雄さん (山飯野・52歳)

昔から「農は国の基、国の基は農」と言われています。今のようにならざる変わる政府のやり方に生産者の皆さんは一概に不安感を抱いています。組合員の利益を守るのが農協の仕事ですから、生産調整をなくして欲しいというのが

私たちの統一した考えです。これからの農業は、集落団地ごとに基盤整備を進めること、農機具の協同利用など効率化を図ること、後継者を育成することなどによって近代化を進めなければいけないと思います。各農家も農業を続けるのか、別の方法をとるのか路線をはっきり決断しなければならぬ時期じゃないですか。市内には、五つの農協がありませんが、二十一世紀の農業を考えると、一つのかまどの中で検討し合うことが不可欠だと思います。

## メロンにロマンを求めて



相馬 秀夫さん (松影・34歳)

田んぼ二・四ヘクタールと畑が八十アールほどあります。畑は露地畑とハウスでトマト、ナスなどのほか、メロンを作っています。高塚農協にメロン部会というのがあり、四十二人の会員がいます。メロンは、トマト、きゅうりなど

に比べると細かい管理が必要ですが、価格は安定しています。手をかければ、それだけりっぱな物になるという魅力がある。と喜んで言っているんです。メロンといっても、品種によって全部味が違うんですよ。それをわかって食べて欲しいですね。安定した一貫性のある農政をやって欲しいということと水稲だけでなく、トマト、きゅうりなどの施設野菜にもっと力を入れて欲しいというのが希望です。

# シリーズ ほんま宿に (3) 農業

## 市の現況

### ■専業・兼業別農家数

	45年	50年	55年
専業	205	150	199
第一種兼業 (農業が主)	1,737	1,277	1,164
第二種兼業 (農業以外が主)	1,176	1,359	1,200
計	3,118	2,786	2,563

### ■経営耕地面積

	45年	50年	55年
田	4,379 <sup>㊦</sup>	4,026 <sup>㊦</sup>	4,035 <sup>㊦</sup>
畑	592	551	535
その他	95	110	101
計	5,066	4,687	4,671

※市の総面積7,636ヘクタール(55年現在)に対する経営耕地面積の割合は約61パーセント。

### ■年齢別(男女計)農家人口

	45年	50年	55年
20歳代	2,387人	2,468人	2,386人
30歳代	2,358	1,704	1,451
40歳代	2,495	2,426	1,973
50歳以上	4,548	4,457	4,709
計	18,811	15,683	14,180

### ■農業就業者数

	45年	50年	55年
男	4,916人	4,369人	3,976人
女	5,110	4,353	3,805
計	10,026	8,722	7,781

### ■一反当たりの水稲収穫量

56年—五三四<sup>㊦</sup>  
57年—五四六<sup>㊦</sup>  
58年—五六一<sup>㊦</sup>  
■58年水稲品種別作付割合(上位三品種)  
アキヒカリ—三七・〇<sup>㊦</sup>  
新潟早生—二五・五<sup>㊦</sup>  
コシヒカリ—二〇・四<sup>㊦</sup>

※「ご意見」「ご提言」などがありましたら、市役所総務課広報広聴係(六七—三四〇一内線二二三)までお寄せ下さい。